

プロフィール

小林 昌二 (こばやし しょうじ)

1990年に「沼垂城」木簡が出土し、『日本書紀』大化3年(647)に見える「湍足柵」が旧沼垂町にあったとして地中探索を続けている。

1 略歴

1942年 新潟市生まれ

1966年 京都大学文学部国史学卒、同博士課程満期退学

1974年 愛媛大学教育学部助手、のち講師、助教授

1986年 新潟大学人文学部教授、のち評議員、大学教育センター長

1997年 イギリス・ダラム大、ドイツ・チュービンゲン大に客員教授

2008年 新潟大学名誉教授、帝京大学文学部教授、2010年新潟市歴史博物館館長(現在に至る)

2 著書

『日本古代の村落と農民支配』(塙書房 2000年)

『古代新潟の歴史を訪ねる』(新潟日報事業社 2004年)

『高志の城柵』(高志書院 2005年) など